

2016年8月5日

富士通株式会社

SQL Server 2014 / 2016 へ移行する場合の留意事項について

本書は、Internet Navigware の旧版で、SQL Server 2000 を使用していたお客様が、Internet Navigware V9.0L41 に移行し、SQL Server 2014、または SQL Server 2016 を使用する場合の留意事項について記述します。

SQL Server 2014、または SQL Server 2016 に移行する場合、下表の「**マニュアル未記載**」となっている組合せについて、マニュアル記載の手順とは別な手順が発生します。

【データベースバージョンごとのバックアップ/リストアによる移行可否】

V9.0L41 の SQL Server	旧版の SQL Server	移行可否
SQL Server 2008	SQL Server 2000	
	SQL Server 2005	
SQL Server 2012	SQL Server 2000	× (SQL Server 2005/2008 経由で移行) マニュアル付録 C.5 に手順記載済み
	SQL Server 2005	
	SQL Server 2008	
SQL Server 2014	SQL Server 2000	× (SQL Server 2005/2008 経由で移行) マニュアル未記載
	SQL Server 2005	
	SQL Server 2008	
	SQL Server 2012	
SQL Server 2016	SQL Server 2000	× (SQL Server 2005/2008 経由で移行) マニュアル未記載
	SQL Server 2005	
	SQL Server 2008	
	SQL Server 2012	
	SQL Server 2014	

具体的には、Internet Navigware Enterprise LMS Server V9.0L41 のオンラインマニュアルの以下の箇所を、本書の【移行手順】に読み替えてください。

「付録 C 旧バージョンからの移行」 -

「C.5 データベース製品のバージョンアップ」 -

[SQL Server の場合] -

「SQL Server 2000 から、SQL Server 2012 へのバージョンアップを行う場合、データベースのバックアップ/リストアを使用して、直接データベースを移行することができません。」の後の、手順 1 および 2

【事前準備】

移行元、移行先の SQL Server 以外に、SQL Server 2005、または SQL Server 2008 を用意してください。

【移行手順】

1 . SQL Server 2000 で、データベースのバックアップを行います。

バックアップ手順は、移行元の Internet Navigware のオンラインマニュアルの下記を参照してください。

○ Internet Navigware のバージョンが V8.0 系の場合

第 23 章 バックアップ/リストア

23.1 データベースのバックアップ

23.1.3 SQL Server

○ Internet Navigware のバージョンが V9.0 系の場合

第 24 章 バックアップ/リストア

24.1 データベースのバックアップ

24.1.3 SQL Server

2 . 手順 1 . でバックアップしたデータベースを、SQL Server 2005、または SQL Server 2008 の環境にリストアします。

リストア手順は、以下のとおりです。

1) SQL Server 2005、または SQL Server 2008 がインストールされたサーバで、タスクバーの [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] - [Microsoft SQL Server 2005(2008)] - [SQL Server Management Studio]をクリックします。

2) [サーバ名] - [データベース] - [INAVIDB]を右クリックし、[タスク]の中[復元] - [データベース]をクリックします。

3) [復元先データベース]に、[INAVIDB]が入力されていることを確認し、[復元用のソース]に[デバイスから]を選択し、バックアップファイル名を指定します。

4) 左ペインの[ページの選択]で[オプション]を選択し、[復元オプション]の[既存のデ

データベースを上書きする]をチェックします。

[OK]ボタンを押します。

5) [サーバ名] - [データベース] - [CNC]を右クリックし、[タスク]の中の[復元] - [データベース]をクリックします。

6) [復元先データベース]に、[CNC]が入力されていることを確認し、[復元用のソース]に[デバイスから]を選択し、バックアップファイル名を指定します。

7) 左ペインの[ページの選択]で[オプション]を選択し、[復元オプション]の[既存のデータベースを上書きする]をチェックします。

[OK]ボタンを押します。

3. SQL Server 2005、または SQL Server 2008 で、データベースをバックアップします。
バックアップ手順は、以下の通りです。

1) SQL Server 2005、または SQL Server 2008 がインストールされたサーバで、タスクバーの [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] - [Microsoft SQL Server 2005(2008)] - [SQL Server Management Studio]をクリックします。

2) [サーバ名] - [データベース] - [INAVIDB]を右クリックし、[タスク]の中の[バックアップ]をクリックします。

3) 左ペインの[全般]で[バックアップ先]に、バックアップファイル名を指定します。
バックアップ先は、手順 1.でリストアしたファイルとは別の新規ファイル名を指定します。[OK]ボタンを押します。

4) [サーバ名] - [データベース] - [CNC]を右クリックし、[タスク]の中の[バックアップ]をクリックします。

5) 左ペインの[全般]で[バックアップ先]に、バックアップファイル名を指定します。
バックアップ先は、手順 1.でリストアしたファイルとは別の新規ファイル名を指定します。[OK]ボタンを押します。

SQL Server 2014、または SQL Server 2016 に移行する際の、上記以外の手順は、SQL Server 2012 と同様です。オンラインマニュアルの SQL Server 2012 の手順を参照してください。

なお、SQL Server 2016 は、SQL Server Management Studio が製品に添付されず、マイクロソフト社のサイトからダウンロードする必要があります。

以下の URL からダウンロード可能です (2016 年 8 月現在)。

<https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/mt238290.aspx>

以上